

## 大槌発

### ノンステップバス寄贈

東日本大震災の被災地を支援している財団が、大槌町に「地域の足として役立てて下さい」と、小型のノンステップバスを贈りました。



寄贈されたバスは大槌町のイメージキャラクター「おおちゃん」が大きく描かれたデザインで、お年寄りや身体の不自由な人が乗り降りしやすいよう、床が低く作られています。贈ったのは開発途上国や自然災害の被災地を支援している国際開発救援財団「FIDR（ファイダー）」で、これまでも大槌町に定置網漁船などを寄贈しています。このバスは仮設住宅団地などを巡回する町民バスとして活躍します。(3/9 ニュースエコー)

## 大槌発

### 旧役場庁舎解体始まる



東日本大震災の津波にのまれ、町長と町の職員4人が犠牲となった大槌町の旧役場庁舎の解体作業が始まりました。旧役場庁舎は解体か保存かを巡って議論が行われてきましたが、建物の一部を保存し大部分を解体する事に決まりました。現場では犠牲者に祈りを捧げる遺族の姿も。解体作業は今年の7月末まで行われる予定です。

(3/10 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### サッカーW杯優勝トロフィー

サッカー・ワールドカップの優勝トロフィーが陸前高田市にやってきました。このイベントは、6月に開幕するワールドカップブラジル大会を前に「コカ・コーラ社」が行っているものです。



トロフィーが展示されるとさっそく大勢の人たちが列を作って記念撮影。またイベントの一環として、ゴン中山の愛称で知られる中山雅史さんやヴェルディで活躍した北澤豪さんなど元Jリーガーチームと陸前高田市の小中高生によるチームの交流試合も行われました。(4/12 ニュース)

## 宮古発

### 災害公営住宅見学会



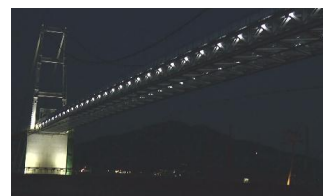
宮古市で初めてとなる災害公営住宅の見学会が行われました。見学会が行われたのは近内住宅1号棟で、宮古市が元々あった雇用促進

住宅を買い取り、5億円余りをかけて内部を改装したものです。見学会には入居を検討する多くの市民が訪れ、間取りや水回りの設備などをチェックしていました。近内住宅1号棟は40戸で6月1日に入居が始まる予定です。(4/14 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 「希望のかけ橋」ライトアップ

陸前高田市の気仙川河口に架けられた「希望のかけ橋」のライトアップが始まりました。「希望のかけ橋」は気仙町今泉地区の山間部を削った



土砂を市街地のかさ上げ工事用に運ぶベルトコンベア専用の吊り橋です。LEDの照明が点灯されると夕闇に「希望のかけ橋」が浮かびあがります。また、ライトアップされた「奇跡の一本松」とのコラボも楽しむことができます。ライトアップは、日曜とお盆、年末年始を除く毎日行われる予定です。(3/15 ニュース)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、宮古に春を告げる魚「サクラマス」について伝えてくれました。サクラマスは、川



魚ヤマメの一部が海に行き再び川に戻って来るとい魚ですが、例年桜の花が咲く頃に遡上のピークとなり、サクラマス釣りの本番を迎えます。サクラマスは切り身にして塩焼きで食べるのがベストですが、フライやから揚げもおすすめだそうです。木村さんは「海の幸も美味しいですが、宮古の春の川の幸サクラマスも皆さんに食べてほしい」と話していました。(4/16)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122